

ご支援のお願い
donation

下記のゆうちょ口座にお振込みください

口座名義：住民目線で政治を変える会・山陰

口座番号：記号15200 番号11500531

また、クラウドファンディングの実施も予定しておりますので、そちらからのご寄付も可能です。

お問い合わせ先

「自分ごと化会議」in松江実行委員会事務局（住民目線で政治を変える会・山陰）

〒683-0811 鳥取県米子市錦町1-36 TEL 090-4571-6576

✉hitomi-nitta@sea.chukai.ne.jp

「自分ごと化会議」in松江

～原発を自分ごと化する～

project始動します。



「自分ごと化会議」って何ですか？

住民基本台帳や選挙人名簿から無作為で抽出された住民が、まちの課題などについて、詳しい人の意見を聞きながら議論する会議のことです。無作為で選ぶことにより、年齢、性別、住む地域、職業などが市民全体に近い小集団で議論することになり、多様な市民の対話が生まれます。そして参加者が地域の課題をどんどん「自分ごと」として考えるようになるという成果が期待されます。

脱原発の人も、推進の人も、自分たちだけで集まり、自分たちの主張を繰り返すだけ。私たちはこんな状況を少しでも変えたいと考えます。この手法を用いて、普通に生活する松江市民が両方の話を聴き、「自分ごと」として原子力発電について考える。そんな一歩にできたらと思います。

「自分ごと化会議」 in 松江 ～原発を自分ごと化する～

趣旨及び目的

- 全国で唯一県庁所在地に原子力発電所を抱える松江市民が、『原発』についてどのように考えているのかを明らかにすることが目的で、稼働の是非を決めることが目的ではありません。
- 議論にあたっては、賛成、反対の意思を表明している人ではなく、無作為抽出の手法を用いることで、まちのことを市民がより「自分ごと化」することも目的とします。
- 行政でも議会でもない、住民団体が主体となって開催することで、市民自治をさらに進めていきます。（住民団体主催の住民協議会は全国初）

実施体制

- 主催：「自分ごと化会議」 in 松江 実行委員会
- 事務局：住民目線で政治を変える会・山陰

概要

- 実施回数：4回
- 時期：10～2月を想定（月に1回の実施を想定）

<成果のイメージ>

- 原子力発電のあり方について、考えたことがある？ ない？
→ 初回：「ない」が多数
→ 協議会が進むにつれて：「自分なりに考えが持てた」が多数になる
→ これだけは改善したい！ やってほしい！ の意見をまとめる。

具体的な流れ

- 選挙人名簿から無作為で抽出した松江市民に協議会参加の案内を送付

● 第1回協議会

- 原子力政策に中立的な立場の人による基調講演
事実情報に基づいてできる限り客観的に話せる人
- 基調講演を踏まえて意見の異なる専門家によるパネルディスカッション
- 無作為で選ばれた市民は、講演やディスカッションを聞いたうえで、原発について感じることや疑問点を話してもらう。

<第1回で学ぶこと>

- ・原子力発電とは何か（仕組みとリスク）
- ・エネルギー政策における原子力発電の位置付け
- ・原子力発電をめぐる議論（賛成意見、反対意見の総覧）
- ・島根県の原子力発電の現状

● 第2回協議会

- 第1回での現状を踏まえて、参加者間で議論。
- 疑問点を「質問提出シート」に記入してもらう（後日、専門家に送付し回答をもらう）。
- 併せて、島根原発に関して、「改善提案シート」（改善をする対象は「国」「県」「市」「中国電力」「自分たち」）を記入。

● 第3回協議会

- 第2回で参加者が記入した「質問提出シート」の専門家による回答、及び「改善提案シート」のとりまとめを基にして、参加者間で議論。

<第2、3回目の主な論点>

島根県の原子力発電の現状と課題、どうあるべきか。

● 第4回協議会

- これまでのとりまとめを基にして集約に向けた議論。

その他

全ての人にプロジェクトの過程を公開します。

実行委員会、4回の協議会も含め、一般またはメディアの傍聴ができます。

ご支援のお願い

全てを住民の手で行いますが、講師を招いたり、会議への参加案内の発送など、約100万円の費用が見込まれています。趣旨に賛同していただきます皆さまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

「自分ごと化会議」 in 松江 実行委員会

原発議論活発化促す

市民団体が語る場創設へ

松江 松



住民協議会の趣旨を説明する福嶋共同代表
(中央) = 30日、松江市役所

市民団体「住民目線で政治を変える会・山陰」(福嶋浩彦共同代表)は30日、無作為抽出した松江市民が原発について議論する住民協議会を今秋立ち上げると発表した。中国電力島根原発が立地する同市で原発の議論の活発化を促す狙い。市民が主催する住民協議会は全国初という。

会議 in 松江「原発を自分ごと化する」と題し、10月、来年2月に計4回、同市内で開催。選挙人名簿から無作為抽出した約千人に案内状を送り、20人程度の参加を見込む。原発に賛成、反対などさまざまな立場から議論する。

初回は、原子力政策に中立的立場の専門家が基調講演。肯定派と反対派の専門家によるパネル討議を聞いた上で協議し、原発やエネルギー政策の基本を学ぶ。

2回目以降は協議後、シートに記入した疑問点に専門家が回答。国や県、市、中電に対する「改善提案シート」も記入し、最終的に意見を取りまとめる。

市役所で会見した福嶋共同代表(61)は「市民が原発や再稼働を自分のこととして考え、討議した結果を市が原発の判断に生かせば、より良い結論が出るのではないか」と話した。

(岡宏由紀)

2018年4月1日付 日本海新聞より

3月30日 松江市役所にて行った記者会見の様子

2018年5月14日

会員各位

住民目線で政治を変える会・山陰

共同代表 吉岡古都
大谷怜美
福嶋浩彦
安田寿朗

拝啓 新緑がまぶしい季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。

住民目線で政治を変える会・山陰では、現在「自分ごと化会議」in松江の開催に向けて、準備を進めています。「自分ごと化会議」の概要については、別紙のリーフレットを参考にしてください。

「自分ごと化会議」in松江の実行委員会の発足にあたり、無作為抽出の住民協議会についてのミニ勉強会を開催いたします。第1回実行委員会も傍聴可能ですので、ミニ勉強会共々ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

日時 2018年5月30日

18:30～19:15

第1回「自分ごと化会議」in松江 実行委員会

19:20～21:20

無作為抽出の住民協議会についてのミニ勉強会

講師：毎熊浩一先生（島根大学法文学部准教授）

伊藤伸さん（構想日本総括ディレクター）

福嶋浩彦さん（中央学院大学教授、

住民目線の会・山陰共同代表）

場所：松江市市民活動センター スティックビル 501、502研修室

参加費：無料

以上

※裏面の「自分ごと化会議」in松江開催についての記者会見を報じた新聞記事もご覧ください。

「自分ごと化会議」 in 松江 ミニ勉強会

2018年5月30日(水)
スティックビル501・502研修室

1. 司会者挨拶(大谷共同代表) 19:20~19:23

2. 講演 19:23~20:23
 - ①「住民協議会」への期待—カナダBC・CAの事例から
講師：毎熊 浩一さん(島根大学准教授)

 - ②行政への住民参加の先進事例紹介
講師：伊藤 伸さん(構想日本 統括ディレクター)

 - ③人口減少社会における地方自治
講師：福嶋 浩彦さん(中央学院大学教授 住民目線で政治を
変える会・山陰共同代表)

3. 3人の講師間での意見交換 20:23~20:50

4. 会場との質疑応答 20:50~21:10

5. 終了 21:10~21:15

以上